

脱・廃用症候群！

看護の判断と関わりでADL回復をデザインする

プランナー：藤原大 坂総合病院

特集

急性期疾患後の安静によって回リハ病棟へ入院する際に廃用症候群となっている患者さんはいまだに多くいます。本特集では、廃用症候群を呈した状態で入院してきた患者さんに対し、看護師はどのようにかわりADL向上を目指せばよいのか、解説します。

特集1 総論

千葉茂樹 新潟勤労者医療協会 下越病院 リハビリテーション科医師

・回復期リハビリテーション病棟における廃用症候群と看護の役割

特集2 廃用症候群のケア

・褥瘡のケア

畠山誠 医療法人社団静和会 静和記念病院 皮膚・排泄ケア認定看護師

・摂食嚥下・口腔のケア

中城文代 福岡医療団 千鳥橋病院 摂食嚥下障害看護認定看護師

・循環機能低下へのケア

千葉一幸 東北医科薬科大学病院 理学療法士

・排泄機能低下へのケア

野村主弥 宮城厚生協会 坂総合病院 皮膚・排泄ケア認定看護師

・骨・関節機能低下へのケア

折内英則 脳神経疾患研究所附属総合南東北病院 理学療法士

・麻痺・拘縮・筋力低下へのケア

吉田朱見 一宮市立市民病院 脳卒中リハビリテーション看護認定看護師

・精神・神経症状へのケア

内海史子 宮城大学 認知症看護認定看護師

・栄養低下へのケア

古谷房枝 福寿会 みらいリハビリテーション病院 看護師

特集3 事例紹介

・事例1: 多職種連携がADL改善につながったケース

勝木会 やわたメディカルセンター 看護師

・事例2: 初期対応の見直しにより廃用進行を防げたケース

いわてリハビリテーションセンター 看護師

連載

・せん妄で困った！ どうすればよかった？ こうすればよかった！
・『勉強会で使える』スライド付き！ 防げ二次性骨折！ 骨粗鬆症の治療と看護

読者ターゲット

リハビリテーションにかかわるナース、理学療法士、作業療法士、言語聴覚士などの
コメディカルスタッフ

ADポイント

リハビリナースでは、摂食・嚥下リハビリ、病棟リハビリ、地域連携、患者さんの
全身管理などについて、さまざまな角度から取り上げます。

広告締切

申込締切日：2026.5.12 版下出版社必着：4C 2026.5.12 1C 2026.5.25 綴込 2026.5.28

広告料

(税抜き)

掲載面	刷色	スペース	料金	サイズ(mm)
表4	カラー	1頁	250,000	205×172【断ち切り】
表2	カラー	1頁	230,000	257×182【断ち切り】
表3	カラー	1頁	210,000	257×182【断ち切り】
記事※	カラー	1頁	160,000	257×182【断ち切り】
記事	1色	1頁	80,000	220×150
記事	1色	1/2頁	50,000	105×150
綴込		1枚	100,000	仕上がり天地左右3mm タテシロありの印刷物

※掲載場所指定は20%増の料金となります(記事中カラーのみ対応)。

(株)メディカ出版 総広告代理店

株式会社 メディカ・アド

〒105-0013
東京都港区浜松町1-12-9 第一長谷川ビル2F
TEL: 03-5776-1853 FAX: 03-5776-1854
担当: 営業部

● 広告原稿は完全データをお願いします。※ 広告掲載前に審査がございます。事前に広告内容をお知らせください。

● 入稿の際は、広告データ、出力見本(確認用PDF)をご準備ください。

● 広告掲載スペースには、断ち切りサイズ掲載可能スペースと、掲載不可のスペースがあります。掲載スペースとサイズをご確認ください。

● 企画内容が変更になる場合があります。